

「からふる」で地域と小学校（こども園）がスクラム 千種学区安全・安心ネットワーク

最近の子ども達を取り巻く環境は大きく変化し、核家族化とインターネット等の普及により、家庭や地域の中で多世代間の接触機会が減少し、他人とのコミュニケーションが取れない子ども達が増加していると感じています。

千種学区安全・安心ネットワークでは、小学校やこども園と連携して子ども達が多世代の人と交流ができる環境をつくるため地域学校（園）協働本部「からふる」を結成することになりました。

「からふる」の結成にともない地域の皆さんに活動支援ボランティアの募集をしたところ、41名の方が登録し6月7日に結成式を開催しました。

「からふる」の活動は新1年生の給食見守りから始まり、農業体験、算数の支援、「花きずな運動」でキリンビール（株）岡山工場から提供された3種類の花を植え、特別養護老人ホームに贈る活動などを展開しています。

これらの活動を進めるため、小学校（こども園）と支援ボランティアとを結んでいるのが地域学校協働活動推進員の3人で、小学校やこども園と連絡を密にして支援ボランティアの活動につなげています。

「花きずな運動」で肩たたき



子ども達が地域を愛する気持ちを持つためには、そこに住んで自分たちの地域を愛している人が話しをしていく必要があります。

地域内には多くの経験を積み、素晴らしい技術を持った方が多く眠っています。

「からふる」にはこのような素晴らしい経験や技術を持った方が多く登録をしています。

そして、活動を通じて生きがいつくりにもなっています。

朝ガクの開催



こども園の支援では、サツマイモ植えや収穫体験、遠足などでの見守り、プール遊びの見守りなど職員の負担軽減に一役かっています。

また、千種学区には国の天然記念物アユモドキ国史跡の東大寺瓦窯跡、県指定の宗堂桜など多くの史跡や文化財が存在し、この宝を後世に引き継いで行くため、総合学習などで講師として語り継いで行く取り組みも行っています。

こども園児の芋ほり体験

